



証券コード 6470



大豊工業株式会社

第107期 中間報告書

2012.4.1～2012.9.30

CONTENTS

連結業績ハイライト／株主の皆さまへ
「VISION 2015」を確実なものに

- 生産能力の拡大で、グローバル競争力を強化
- トライボロジーをコアに新領域を開拓

決算概要

株式概況／会社概況

連結業績ハイライト

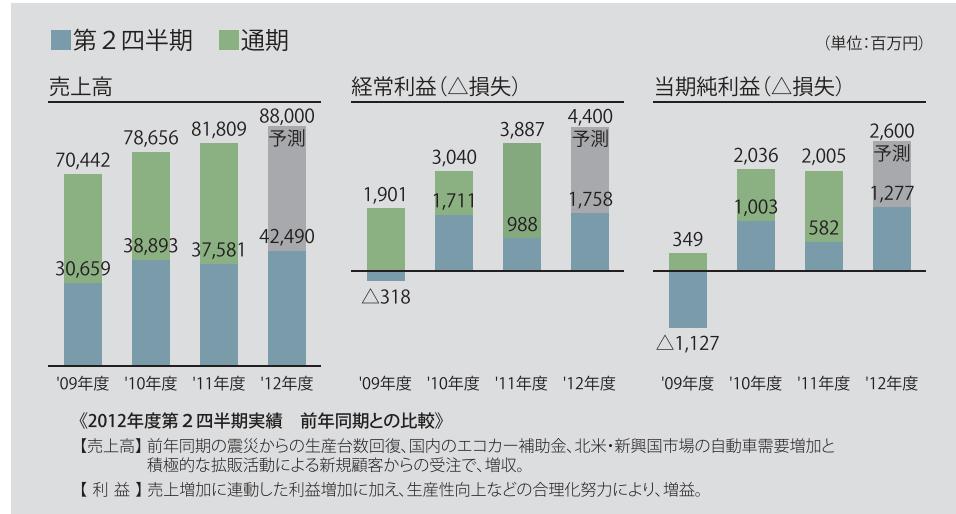
Financial highlight

第2四半期実績

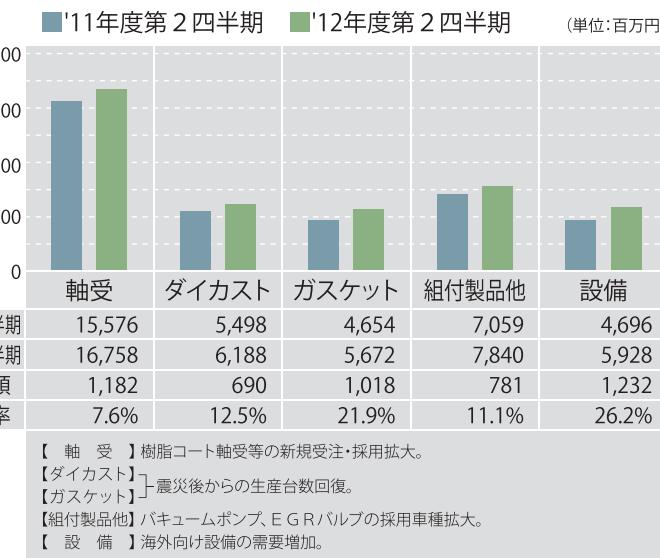
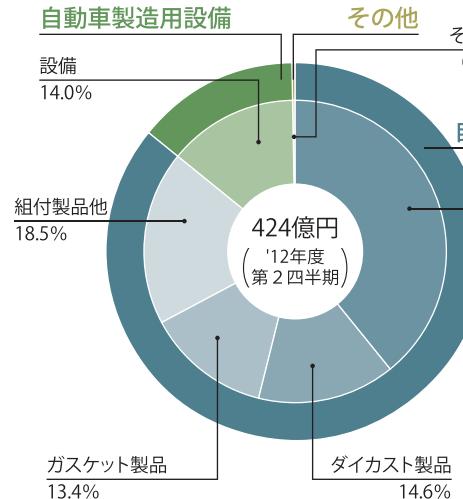
売上高 424億円
経常利益 17億円
純利益 12億円

通期予測

売上高 880億円
経常利益 44億円
純利益 26億円



事業別売上高



株主の皆さまへ

To stockholders

株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2012年度の中間報告にあたり、ごあいさつ申し上げます。

【2012年度 上半期実績】 企業努力により、前年同期比 増収増益を確保

2012年度上半期の業績は、国内はエコカー補助金、海外は北米市場の回復や新興国市場の成長による自動車需要増加に加え、新規顧客からの受注や収益向上活動の結果、増収増益を確保することができました。一方、継続する円高や中国の経済成長鈍化、エコカー補助金の終了などの減

収要因により当初計画を下回る決算となりました。

足元は、中国や欧州経済の減速、潜在する多くの国内外の不確定要因により、期末に向けて業績見通しがつけ難い状況にはありますが、新規拡販活動および合理化活動の継続により、通期の収益確保を進めていきます。

基盤確立から、次期中期経営計画での飛躍に向けて

当社では、2009年に策定したVISION 2015の実現に向けた活動を継続しています。リーマンショックの後、製品、生産・生産設備、国内外グループ事業体の基盤強化を進め、継続的な業績改善を実現してきました。上期の具体的な成果として、新工法軸受の量産、新めつきラインでの量産を開始するとともに、北米、中国、岐阜における軸受ラインの増設を完了しました。

2013～2015年度にわたる次期中期経営計画期間は、新製品開発成果を具体化する期間であり、今年度、その計画を練り上げていきます。

【2012年度 通期見通し】 新規拡販の継続、合理化の一層の推進により、前期比 増収増益を目指す

今下期、上期に増して厳しい経済環境が予想されます。このような状況の中、樹脂コート軸受をはじめとする新規拡販案件の確実な立ち上げ、全社にわたる合理化および原価改善など、年度計画の実現に向け活動を強力に進めていきます。

次期中期経営計画に向けた準備を加速

本年8月に完全子会社化した常州恒業軸瓦材料有限公司(WBM)における自動車用軸受の生産準備、大豊岐阜(株)における樹脂コート軸受ラインの増設・立ち上げ、タイ子会社(TCT)における新工場の建設着手およびバキュームポンプ生産準備の開始など、次期中期経営計画に向けた準備を加速し、VISION 2015の実現を図ります。

株主の皆さまには、引き続き、ご支持・ご鞭撻をお願い申し上げます。

2012年11月

代表取締役社長 上田建仁



会社方針

中期経営計画 (2010～2012年度)

- 中期経営方針
基本に忠実な企業体質づくりと未来への飛躍
- スローガン
基本にかえり、未来を創造

「VISION 2015」を確実なものに

We attain "VISION 2015" certainly.

生産能力の拡大で、グローバル競争力を強化

"VISION 2015"の達成に向け、当社では2009年下期より活動を続けてきました。

2012年度は、その中間点であるとともに、次期中期経営計画(2013年～2015年)の策定時期にあたります。

これまでの活動を集大成し、「自動車用すべり軸受で世界No.1」を実現するため、グループの総力を挙げ活動を進めます。

RR軸受ライン稼動

当社主力製品であるエンジンベアリングの「新工法RR(良品廉価)軸受ライン」が7月より細谷工場で稼動、量産を開始しました。

このラインはスペース・工程を徹底的に見直し、約40%のライン長短縮を実現しています。

また、2013年度には2号ラインの稼動を予定しており、既に設置準備に着手しています。

今後、大豊グループのグローバルラ

インとしてお客様の生産動向を見据えたうえ、海外拠点への展開を検討していきます。

中国で軸受素材の生産開始

8月、中国最大のアルミ合金軸受の素材メーカー「常州恒業軸瓦材料有限公司(WBM)」の株式を100%取得し完全子会社化しました。

これにより、中国で海外初となる軸受の素材生産から加工までの一貫生産を実現できました。

WBMからは、すでに「大豊工業(煙

台)有限公司(TCY)」への供給をはじめ、中国内の軸受メーカーへも素材を納入しています。今後は品質向上と生産量を拡大することで、大豊グループ海外生産拠点への供給も検討しています。

国内外で軸受ライン増設

「タイホウ コーポレーション オブ アメリカ(TCA)」では国内外の自動車メーカーからの新規受注を受け、2ラインを増設、約1.7倍の生産能力を確保して8月から生産を開始しました。

また、TCYにおいても9月に1ライ

ンを増設、中国市場のニーズに対応しています。

「タイホウ ヌサンタラ株式会社(PTN)」では工場の拡張工事に着手、今年度中に完了させ、今後のライン増設に備えます。

国内では、「大豊岐阜株式会社」で2ラインを増設しました。今後、RAコーティングラインも増設し、付加価値の高いエンジンベアリングの生産量を増加させていきます。

来年度以降もライン増設を図り、「VISION 2015」で掲げた「自動車用す

べり軸受で世界No.1」を確実なものにします。

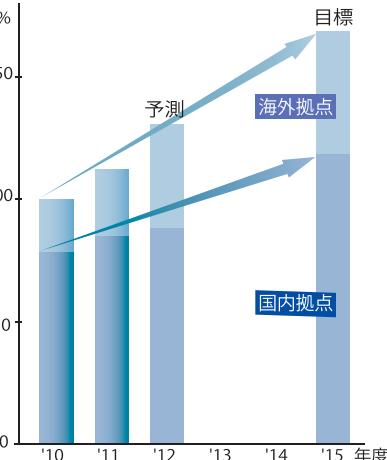
タイでシステム部品の生産準備

「タイホウ コーポレーション オブ タイランド(TCT)」の新工場建設を決定しました。新工場建設にあたり、昨年の洪水などのリスクを回避するため、プラチナプリ県304工業団地へ移転します。

この工場では海外で初のシステム部品生産を目指し、2014年2月より稼動、2015年1月からバキュームポンプの量産を開始する予定です。

大豊グループの軸受生産能力

2010年度を基点とした生産能力の増加率



VISION 2015



「VISION 2015」を確実なものに

We attain "VISION 2015" certainly.

トライボロジーをコアに新領域を開拓

“VISION 2015”的第2の柱である「環境ブランドの確立」に向けて、取り組みを継続していきます。

当社のコア技術である「トライボロジー」を軸に、軸受から潤滑システムの領域拡大を進めていきます。

また、低燃費や排出ガス浄化に関連したシステム部品をさらに強化していきます。

'09年度

'10年度

'11年度

'12年度

'13年度

'14年度

'15年度
成長と飛躍

基盤確立

既存コア製品の成長

1. 軸受製品(エンジンベアリング、ブッシュ、ワッシャ、特殊軸受)の拡大
・表面改質
・機能設計



2. システム製品(EGR、V/Pなど)の拡大



3. 既存製品の付加価値を高める



拡大、既存技術とあわせて環境ブランドの確立を目指しています。

- 潤滑システム**
- 潤滑油量制御
 - 潤滑油温制御
 - 潤滑油供給制御
- 既存製品**
- 樹脂コート軸受
 - 偏心溝軸受、MGB
 - バキュームポンプ
 - EGRバルブ

- 自動車の環境対応技術**
- ハイブリッド
 - プラグインハイブリッド
 - アイドリングストップ
 - 過給ダウンサイ징
 - クリーンディーゼル
 - CVT
 - DCT

T-MACが社外サービスを開始

大豊精機株式会社では、同社がこれまでに培ってきた3Dスキャニングと計測解析技術を再編成し商品化しました。ホームページの開設、イベントへの出展を通して社外向けサービスをしています。



<http://www.tsk.taihonet.co.jp/T-MAC/>

特に、スキャニング手法には高いノウハウが必要で、T-MACでは巨大建造物からサブナノレベルの実体スキャニングを可能とし、工業製品や設備はもとより、学術調査や教材の分野まで活用領域を広げています。

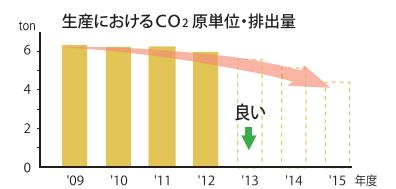
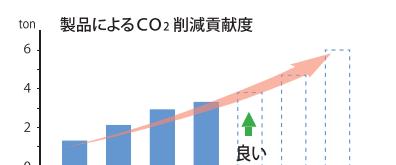
詳しくはホームページをご覧ください。

CSR

2つの観点で、環境保護を推進

当社では、2010年度より環境保護の取り組みとして「環境基本方針」を策定し、製品、生産の2つの観点から活動を推進しています。

製品における環境保全に関しては、自動車の環境技術への貢献を最優先した製品開発を、生産においては、生産活動で発生する環境負荷物質やCO₂を最小限に抑える努力をしています。



「防災管理規定」を改定

従来の「防災管理規定」を、BCM(事業継続マネジメント)手法を取り入れた規定に改定・強化し、本年1月より導入しました。火災や自然災害に対し、人命の安全、物的被害の軽減、二次災害の防止を図るとともに、迅速に重要な製品供給の継続と早期復旧を目指します。

また、当社では生産リスク分散として主力製品であるエンジンベアリングを、細谷工場と大豊岐阜株式会社の2拠点で生産しています。



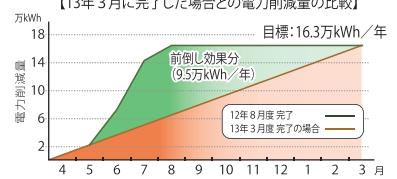
改訂した「防災管理規定」に沿って行われた防災訓練

省電力照明で節電 [細谷工場]

2013年3月完了を予定していた細谷工場のLED照明への切り替えを予想された夏の電力不足に対応するため、本年8月に完了しました。

今後もCO₂削減活動を継続します。

電力削減量：16.3万kWh/年 CO₂低減：60.6t/年
【13年3月に完了した場合との電力削減量の比較】



決算概要

Financial Statements

連結貸借対照表

科 目	当第2四半期連結会計期間末 2012年9月30日現在	前連結会計年度末 2012年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	38,893	39,263
現金及び預金	14,016	12,567
受取手形及び売掛金	13,089	15,204
有価証券	199	299
たな卸資産	6,590	6,242
繰延税金資産	1,080	1,170
その他	3,921	3,786
貸倒引当金	△ 5	△ 7
固定資産	44,996	44,805
有形固定資産	40,317	40,342
建物及び構築物	10,355	10,366
機械装置及び運搬具	12,950	12,589
土地	12,980	12,971
建設仮勘定	3,010	3,567
その他	1,021	848
無形固定資産	1,117	615
投資その他の資産	3,561	3,847
合 計	83,889	84,069

【流動資産】当第2四半期連結会計期間末における流動資産は388億9千万円であり、前連結会計年度末に比べ3億7千万円減少しています。現金及び預金の14億4千万円の増加、受取手形及び売掛金の21億1千万円の減少が主な要因です。

【固定資産】当第2四半期連結会計期間末における固定資産は449億9千万円であり、前連結会計年度末に比べ1億9千万円増加しています。のれんの3億2千万円の増加、投資有価証券の2億5千万円の減少が主な要因です。

科 目	当第2四半期連結会計期間末 2012年9月30日現在	前連結会計年度末 2012年3月31日現在
【負債の部】		
流動負債	21,117	20,269
支払手形及び買掛金	11,204	12,314
未払費用	4,771	4,072
その他	5,141	3,881
固定負債	17,258	19,364
長期借入金	15,061	16,965
退職給付引当金	1,220	1,344
その他	976	1,053
負債合計	38,376	39,633
【純資産の部】		
株主資本	47,533	46,476
資本金	6,278	6,213
資本剰余金	9,747	9,682
利益剰余金	31,698	30,770
自己株式	△ 190	△ 190
その他の包括利益累計額	△ 2,422	△ 2,440
その他有価証券評価差額金	252	395
為替換算調整勘定	△ 2,674	△ 2,835
新株予約権	72	95
少数株主持分	329	304
純資産合計	45,513	44,435
合 計	83,889	84,069

【流動負債】当第2四半期連結会計期間末における流動負債は211億1千万円であり、前連結会計年度末に比べ8億4千万円増加しています。1年内返済予定の長期借入金の20億円の増加、支払手形及び買掛金の11億1千万円の減少が主な要因です。

【固定負債】当第2四半期連結会計期間末における固定負債は172億5千万円であり、前連結会計年度末に比べ21億円減少しています。長期借入金の19億円の減少が主な要因です。

【純資産】当第2四半期連結会計期間末における純資産は455億1千万円であり、前連結会計年度末に比べ10億7千万円増加しています。利益剰余金の9億2千万円の増加が主な要因です。

連結損益計算書

科 目	当第2四半期連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
売上高	42,490	37,581
売上原価	34,993	31,254
販売費及び一般管理費	5,740	5,438
営業利益	1,755	889
営業外収益	229	420
営業外費用	226	321
経常利益	1,758	988
特別利益	41	35
特別損失	66	44
税金等調整前四半期純利益	1,732	979
法人税、住民税及び事業税	288	202
法人税等調整額	146	175
少数株主損益調整前四半期純利益	1,297	601
少数株主利益	20	19
四半期純利益	1,277	582

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第2四半期連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,045	2,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,182	△ 1,565
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 357	1,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	6
現金及び現金同等物の増減額	1,521	1,888
現金及び現金同等物の期首残高	12,095	9,445
現金及び現金同等物の期末残高	13,617	11,334

中間配当金

2012年10月30日開催の取締役会において、2012年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対して行う中間配当金につき、次のとおり決議しました。

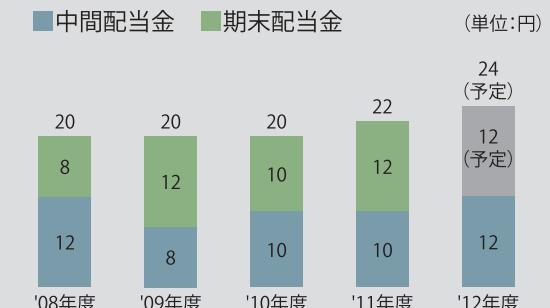
①中間配当金

1株につき12円

②効力発生日ならびに支払開始日

2012年11月26日

1株当たり年間配当金



株主の皆さまへの利益還元と事業の成長および経営基盤の強化のための内部留保を総合的に勘案し、長期にわたり安定的な配当の継続を基本に考えています。

内部留保した資金は、将来にわたる株主利益を確保するため、将来の事業成長のための投資および財務体質の強化に活用していきます。

中間配当金を昨年よりも増配し、12円とさせていただきます。なお、年間配当金は、24円を予定しています。

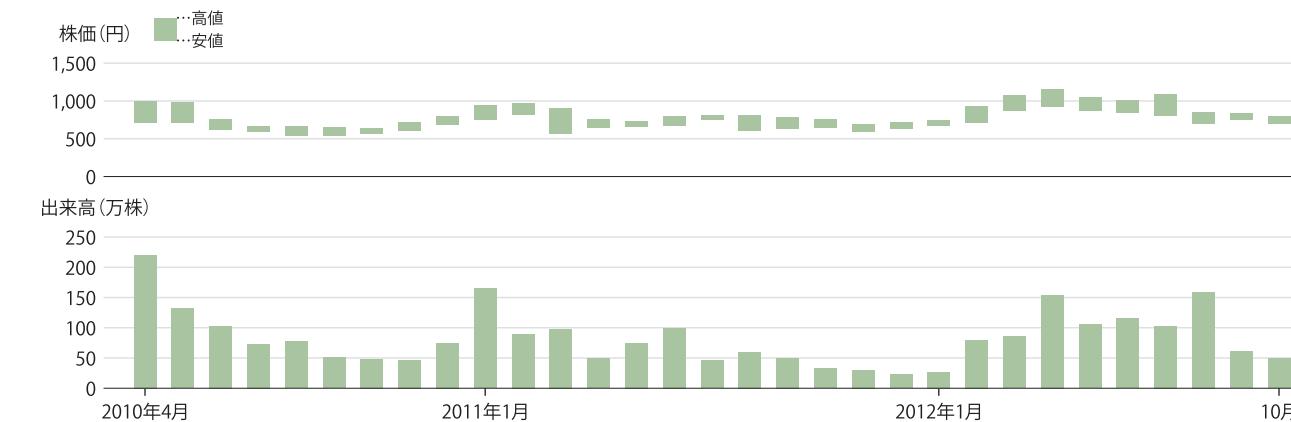
株式概況 (2012年9月30日現在)

Stock information

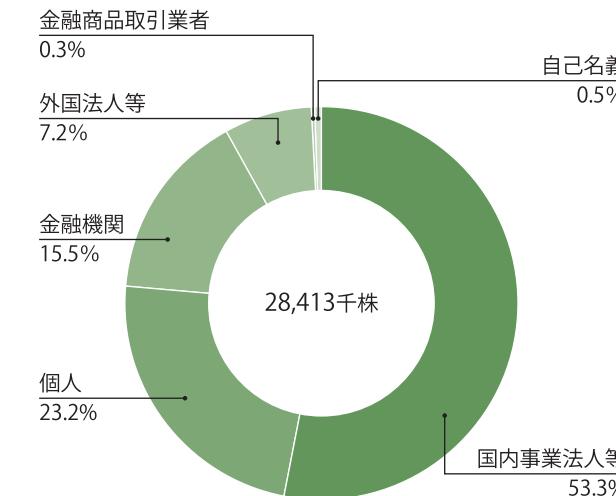
株式の状況

発行可能株式総数	48,400千株
発行済株式の総数	28,413千株
株主数	4,440名
大株主(上位10名)	
株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,234
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	714
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	579
大豊工業従業員持株会	498
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	425
野々山 秀夫	305

株価の推移



所有者別株式分布状況



会社概況 (2012年9月30日現在)

Corporate profile

会社概要

創業 1944年12月
資本金 62億7千8百万円
従業員数 連結:3,800名 単独:1,660名
本社所在地 〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
TEL(0565) 28-2225 (代表)
事業内容 軸受製品、ダイカスト製品、ガスケット製品
組付製品他、精密金型
上記の製造および販売

事業所および営業所

本社／本社工場(愛知県豊田市)
細谷工場(愛知県豊田市)
篠原工場(愛知県豊田市)
九州工場(鹿児島県出水市)
幸海工場(愛知県豊田市)
東京営業所(東京都中央区)
大阪営業所(大阪府大阪市)

国内子会社

大豊精機株式会社(愛知県豊田市)
株式会社ティーイー(愛知県春日井市)
株式会社タイホウライフサービス(愛知県豊田市)
日本ガスケット株式会社(愛知県豊田市)
株式会社タイホウパートセンター(岐阜県土岐市)
大豊岐阜株式会社(岐阜県可児郡御嵩町)

主な海外子会社

タイホウコーポレーション オブ アメリカ(アメリカ)
タイホウ ヌサンタラ株式会社(インドネシア)
タイホウ コーポレーション オブ ヨーロッパ有限会社(ハンガリー)
韓国大豊株式会社(韓国)
大豊工業(烟台)有限公司(中国)
タイホウ コーポレーション オブ タイランド(タイ)
常州恒業軸瓦材料有限公司(中国)

取締役

役職	氏名
代表取締役社長	上田 建仁
代表取締役副社長	斎藤 和幸
取締役専務執行役員	山崎 謙一
取締役専務執行役員	近藤 隆彦
取締役常務執行役員	川上 真也
取締役常務執行役員	神谷 荘司
取締役常務執行役員	楠 隆博

監査役

役職	氏名
常勤監査役	佐藤 章雄
常勤監査役	竹中 章
監査役	増井 敬二
監査役	井上 洋一
監査役	安田 益生

執行役員

役職	氏名
執行役員	佐藤 英知
執行役員	河合 信夫
執行役員	佐藤 光俊
執行役員	大河内 光人
執行役員	辻 宏和
執行役員	川治 豊明
執行役員	高間 建一郎
執行役員	吉井 利治
執行役員	岸 吉信

● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	http://www.taihonet.co.jp/

● 株式関係のお手続きについて

- 1.株式関係のお手続きにつきましては、お取引先の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株につきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。
- 2.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



お問い合わせ先 TEL (0565) 28-2225 (代) 総務部広報室